

☆二〇二五年度、国家予算から見る日本の姿

人を見るにはその人のお金の使い方を見ればわかると言われます。国も同じです。私たちの納めた税金がどのように使われているか、憲法の目から日本の姿をみてみます。

★2025年度予算

◆少数与党という状況のなか25年度予算がようやく年度内に成立しました。これまで予算が修正されることなく一方的に決まってきましたが、野党の意見も取り入れられたことは、評価されて良い現象です。

◆しかし、内容的には問題が多くあります。まず、依然として歳出が歳入を大幅に上回るという借金まみれの財政が続いていることです。

◆税収が88兆円なのに対し、歳出は115・5兆円、約28兆円の赤字です。それは国の借金すなわち国債等で補われていますが、その累積額は1300兆円でGDP（国内総生産）の2倍を超えGDP比では世界一です。

★突出する防衛費

◆そんな中で、今年度の予算で驚くのは防衛費の大幅増加です。かつて防衛費はGDP比1%と抑制されていたのが、25年度は2%となり、金額で8・4兆円、7500億円も増えました。社会保障費の増加額5600億より多いのです。

◆この問題は、国会の予算審議で一部の野党が追及したのみで、ほとんど関心が寄せられませんでした。国会議員の問題意識のズレにがく然とする思いです。

★お金の使い道を「平和」「防災」「貧困者」に！

◆一方、国内でのお金の使われ方を見ると、例えば沖縄辺野古では完成の見通しもないのに、私たちの税金をジャブジャブ使って工事を続けています。

◆防衛費の増加については、台湾周辺での中国の軍事的動向に対する抑止力強化のためと言っていますが、そのお金を緊張緩和のための外交に振り向けるべきではありませんか？

◆日本は先の戦争の過ちを反省し憲法9条で戦争を（その準備も）放棄しました。その原点に返って、戦争準備をきっぱりとやめ、そのお金を「平和」「防災」「貧困対策」などに向けるべきです。その手本を世界に示そうではありませんか。

二〇二五年四月十三日（日）護憲平和行進（通算698回目）

★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中央区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合



*今年（2025年）6月8日、浜松市憲法を守る会の平和行進は700回の節目を迎えます。みなさんこの日の行進に参加し、歴史にあなたの足跡を残しませんか。

日本国憲法 前文より

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想をわれらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようとし、全世界の国民が、社会にいて、名誉ある地位を占め、たいやうと永遠に除く。われらは、全世界の国民が、社会をひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。